



西有家小学校だより 7号
校訓 (勤労・勉学・大志)
学校教育目標 明るく心の美しい子ども

令和5年10月2日
南島原市立西有家小学校
TEL 73-6741
(文責 校長 大古場)



充実の秋へ



2学期が始まって1ヶ月が過ぎました。残暑が大変厳しい中で、熱中症対策や感染症対策に追われるところもありましたが、みんなが学校生活に不適應を起こすことなく元気に登校できていることは何よりでした。これからは「充実の秋」に向かって、子どもたちの笑顔がますます輝いていくよう、支援してまいります。

「子どもの才能を引き出すために」

学校の1年間を前期と後期に分けるとすれば、10月からは後期に入ります。季節は秋を迎え、いろいろなことにチャレンジしてさらに成長できる良い時期でもあります。



その後期を迎えるにあたって子どもたちの才能を一層引き出すために思い出されるのは、ピアニストの辻井伸行さんです。辻井さんは、生まれながらの全盲でしたが、母親とピアノの先生によって生まれながらの才能が十分に開花された人です。その秘められた能力に気づいたのは母親であり、生まれながらの聴音能力を生かした指導法を工夫したのはピアノの先生でした。全盲というハンディに屈することなく努力を重ね、世界的に有名なピアノコンクールである「ヴァン・クライバーン国際コンクール」で見事優勝するという偉業も成し遂げました。

辻井さんをはじめ、その分野で超一流と呼ばれる方々の幼少期のことで思われることは、いかに潜在能力があったとしても、それを引き出すのは環境や周囲の大人の関わりであり、その関わりで本人の好きなことを見つけてやり心に火を付けることが重要であるということです。西有家小の子どもたち1人1人にも、まだ周りの大人が気づいていない力がたくさんあると思っています。それを引き出すためにも、学校ではスモールステップで子どもたちを伸ばし、よりよい成長につなげていくように努めてまいります。



子どもたちの意欲を高め、自信をもたせるため、学校と家庭と地域が手を取り合って子どもたちと向き合っていきましょう。ちなみに超一流と言われる方々の親さんたちの子育てに共通していることは、「自分の理想を押しつけないで、成長の過程を一緒に楽しめたこと」だそうです。そして、皆一様に「子育てが楽しかった」と語られていたそうです。子どもの才能を開花させるためにも参考にしたいものです。

「AIドリル(キュビナ)活用スタート」～勉学の秋～

本市では、GIGAスクール構想に向けた一人一台のタブレット活用が始まって2年目(4年生以上は3年目)を迎えており、今までにない新たな学びのスタイルがつくられているところです。本校の5・6年生においては、タブレットの中にキュビナというAIドリルが入っていて「国語、社会、算数、理科、英語」の5教科について小学校1年生から中学校3年生の内容まで活用できるようになっています。



AIドリルの利点は、「①自動で採点ができること」「②その採点結果から、その子のつまずきに合った最適な問題を出題してくれること」「③学習時間や問題数をリアルタイムに自己評価し、次の取組を自己決定できること」です。だから、「自ら学習を調整すること」が可能となり、意欲的に学習に取り組むことで学力向上が大いに期待できると思われます。5・6年生は、タブレットの持ち帰りは自由となっておりますので、自分の力に応じてどんどん活用してほしいと思います。

また、1年生もパスワードを入力するところから始まり、活用回数が増えてきました。タブレットの活用技能は各学年の発達段階に応じて確実に向上しています。もちろん、教職員が授業で効果的に活用する能力も高まっています。ご家庭でもタブレット活用について、どのような学習をしているのか、どんなことができるようになったかなど、時々話題にされてみてください。

※(裏面に続きます)

「SNS使用について」

9月の授業参観、学級部会・夏休み作品展には、ご多用の中にご参加、ご観覧いただき誠にありがとうございました。作品展では、子どもたちの力作に目を奪われた方もおられたのではないかと思います。「とても素晴らしい作品展だった」という地域の方からのお褒めの言葉もあり、大変嬉しく思いました。



さて、学級部会の折に全学級で「SNSノートながさき」について話題にいただきました。SNSに関する問題と向き合うことの重要性はご理解いただいているところですが、今一度、お子様のスマホやゲーム機などの使用についてご家庭での約束ができているか、それが守られているかのご確認をお願いいたします。

本校では、昨年度の全保護者対象のアンケート調査によると「家庭にゲームができる機器(ゲーム機、スマホ、タブレット、パソコンなど)がある」と回答されたご家庭が99%もありましたので、日頃家庭でお子さんがゲームを楽しんでいる時間があるかと思えます。時間を決めて楽しんでいると思いますが、「ゲーム依存症」という言葉もあります。依存症は病気の一つです。ゲームなどをやり続けることにより脳内の前頭葉がダメージを受けてゲーム脳となり、「①目や姿勢が悪くなる」「②頭痛がする」「③人を責める」「④ボーッとなる」などの症状が出てきます。ある調査によると、「長時間のゲームは、言語知能の低下、記憶の低下につながる」「長時間使用していた子どもは、使用を止めた1年後でも成績が下がっている」という結果がはっきり出ています。実際に、ゲームのやり過ぎが原因で授業中にボーッとしている子もいます。まだ未熟な子どもたちを守るためにもゲーム機等の使用について次の3つの約束が必要となります。

「①家族の前でする ②時間を決める(1時間以内) ③終わったらゲーム機などは大人に預ける」

この3つがご家庭での約束に入っていたら幸いです。現代社会においてSNSへの対応は、避けては通れない問題です。買い与えた大人がこの問題にしっかりと向き合い、心身共に健康な子どもを育てていきましょう。

社会体育のがんばり ～西小っ子の活躍～

☆「バレーボール(女子)」

＜第38回東部ジュニアバレー夏季大会＞Aクラス 優勝 西有家JVC
 ＜第1回SGカップ＞ 優勝 西有家JVC
 ＜第29回野ぎくカップ＞ 第3位 西有家JVC



☆「サッカー」

＜サッカーフェスティバル2023 in 百花台U-10＞ 優勝 FC西有家
 ＜第1回FLJカップ＞ U-10の部 準優勝 FC西有家
 ＜2023イルカカップ＞ 第3位 FC西有家

☆「バスケットボール(女子)」

＜第18回南島原市民スポーツ大会小学女子＞ 準優勝 THSバスケットクラブ
 ＜第24回長与カップ大会＞ 第3位 THSバスケットクラブ (布津小と合同)

☆「ソフトボール」＜第18回南島原市民スポーツ大会＞ 第3位 西有家SC



☆「陸上」＜第18回南島原市民スポーツ大会＞

- ・5, 6年男子100m 第1位 木原 凜人くん 第3位 高橋 篤人くん
- ・5, 6年女子100m 第1位 佐々木 ゆのさん 第3位 佐々木 ゆやさん
- ・5, 6年男子800m 第1位 木原 凜人くん 第2位 高橋 篤人くん 第3位 太田 紘仁くん
- ・5, 6年女子800m 第2位 西田 琉奈さん
- ・小学男子4×100mリレー 第1位 安達 大雅くん 木原 凜人くん 高橋 篤人くん 太田 紘仁くん
- ・小学女子4×100mリレー 第1位 平山 怜愛さん 佐々木ゆのさん 佐々木ゆやさん 西田 琉奈さん

☆「空手」＜第18回南島原市民スポーツ大会＞

- ・小学1,2年組手個人の部 優勝 近藤 希龍くん 第3位 西村 直和くん
- ・小学1,2年 形 個人の部 第3位 近藤 希龍くん
- ・小学3,4年 形 個人の部 第2位 西村 悠和くん 組手個人の部 第3位 西村 悠和くん
- ・小学5,6年 形 個人の部 第3位 中村 杏々果さん

☆「水泳」＜第18回南島原市民スポーツ大会＞

- ・小学1,2年女子 25mビート板 第1位 龍田 結望さん

行事予定

- | | |
|---------------------------|-------------------|
| 10月3日～4日 6年修学旅行(福岡・佐賀方面) | 11月17日(金) 学習発表会 |
| 10月24日(火) 交流いも掘り会(特別支援学級) | 12月 1日(金) 持久走大会 |
| 10月27日(金) 秋の遠足(予備日11月2日) | 12月22日(金) 第2学期終業式 |